

矢大臣山 山行報告

【山 域】阿武隈山塊 矢大臣山

【日 程】2019年2月2日（土）曇りのち小雪

【参加者】CL 柘植・SL 鈴木(憲)・杉山・澤田(路)・加藤・川上・尾崎・金・瀧瀬(記録)

【行 程】仲上登山口から矢大臣山を往復

当初裏磐梯の猫魔ヶ岳をわかんまたはスノーシューにて周回の予定であったが、現地の天気予報が荒天となっていたため、直前で阿武隈山地の矢大臣山にハイキングとなった。



9:30 駐車場に到着し、冷たい風が吹く中準備を始めました。地味な里山の雰囲気なのだが、臨時駐車場まであり、親切にも竹の杖が大きなプラスチックのごみ箱2つに用意されている。登山シーズンは4月中旬の新緑から10月下旬の紅葉の時期らしい。スタートの9:45には登山客は他になし。せっかくなので、竹の杖を手に登山開始。



登山口（竹の杖が何十本も）



凍った林道を行く



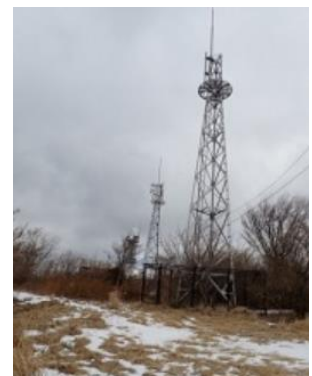
遠く蓬田岳（昨年の同時期登山）



伝説の長持石



山頂近くの展望地だがドン曇り



山頂には電波塔が林立

コンクリートの車道から登山道に入るとうっすらとした雪道になりました。30分程歩くと遠くの山々に雪雲がかかり始めました。K女いわく「私は吹雪女なの～」確かにふわふわと風花が舞い始めました。途中「長持石」に「ブナの大木」の名所を見ながら11:30山頂に到着。大きな電波塔に立派な展望台まであり、隣の山には風力発電の風車が見えます。風強くて体温が奪われて行くので、記念撮影を終えて早々に下山。山頂直下は結構な急坂に凍った地面で滑らないように慎重に下山しました。



近くの山では風力発電風車が元気に回っている



矢大臣山の山頂で記念写真

宿は昨年も泊まったリゾートイン四季という民宿。泊客は我々だけでしたが、八畳部屋を4つ準備していただき、二間続きの温かい部屋で楽しく宴会ができました。



夕食の宴